

静岡県試験研究 10 大トピックス（水産技術研究所）

<p>タイトル</p>	<p>クロダイからアサリを護る</p>	<p>研究課題名 期間</p>	<p>安定的な利用を目指したアサリ資源回復技術の研究 H28～30</p>
<p>所属</p>	<p>水産技術研究所 浜名湖分場</p>	<p>補職名 研究者名</p>	<p>上席研究員 小泉康二</p>
<p>研究概要</p>	<p>【背景・ねらい】 浜名湖のアサリ漁獲量は、近年、不安定な状況にあり、資源の安定的な利用に対する漁業者の思いは強くなっている。また、平成 28、29 年はアサリ資源の減少を理由に、観光渡船潮干狩りが中止になるなど地域経済が大きな影響を受けた。 資源減少要因の一つとして、クロダイなどによる食害が漁業者から指摘されており、その対策が急務となっている。このため、アサリ資源の回復を目的に、食害の実態把握とその対策について取り組んでいる。</p> <p>【成果の内容・特徴】 1 食害実態を把握するため、水中カメラを設置して観察を行ったところ、多数のクロダイがアサリを捕食する様子が見られ、食害は主にクロダイによることが確認できた（図 1）。 2 湖底を網で覆う被覆網試験区と網のない対照区にアサリを收容し、定期的にあサリの生残を調査した。対照区のアサリの生残率は、試験開始後 30 日でほぼ 0% となったが、試験区では半年後でも約 8 割が生残していたことから、被覆網が食害防除に効果があることを確認できた（図 2）。 3 被覆網より設置作業が簡便で、広範囲の漁場を効率的に防除可能な囲い網を使用したところ、被覆網と同等の防除効果が確認された（図 3）。</p> <p>【成果の活用・留意点】 1 本研究の成果については、地元の関係漁業者のほか、全国のアサリ研究者向けの会議や広報誌などで広く発表している。 2 浜名湖ではアサリ関係漁業者が中心となって、被覆網を設置してアサリを食害から護る取組を始めているが、囲い網を含めた、より効率的な対策を進めていく必要がある。</p>		
	<p>問合せ先 053-592-0139</p>		

様式 2



図 1 湖底に群がるクロダイ (左)・砂中のアサリを捕食するクロダイ (右)

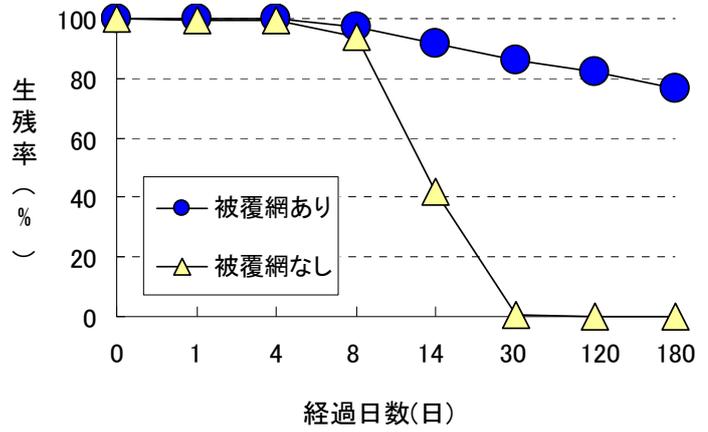


図 2 被覆網試験の状況 (左) とその食害防除効果

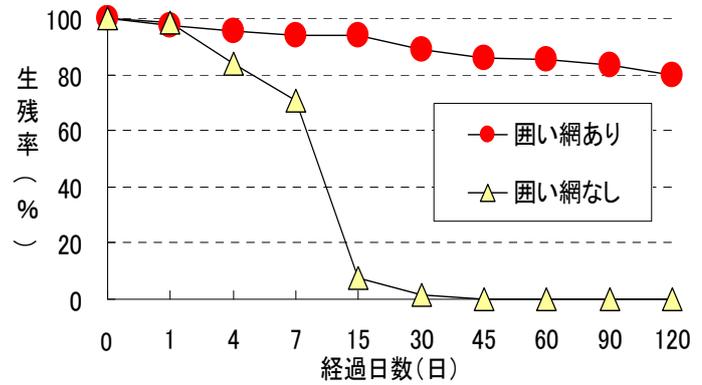


図 3 囲い網試験の状況 (左) その食害防除効果 (右)